

ブンゴキムラゲモ

Heptathela kikuyai

キムラゲモ科

カテゴリー

大分県 地域個体群

環境庁 II



化石時代のクモで、腹部に体節が残っている所からハラフシグモの仲間とされる。丘陵などの斜面に親指の爪ほどの大きさの扉を作って、その中で生活している。夕方、扉を少し持ち上げて、その内側に潜み、餌になる昆虫が近付くのを待ち伏せて捕食する。家族集団を作る傾向があり、狭い場所に群れる。森林の林縁、耕作地の畦、路肩の法面などが、掘削され、埋土され、コンクリート被覆などされて、生息地ごと全滅する事例が多い。

(写真・文：菊屋奈良義)

県内分布 日田市、玖珠町、山国町（一部）、安心院町、山香町、日出町を結ぶ地帯より南側の大分県下

分布域 福岡県八女地方、熊本県北東部、大分県下南部、宮崎県北部

ク
モ
類